

## ラック搭載手順

安全および配線についての情報は、ラック・キャビネットに付属の資料をお読みください。サーバーをラック・キャビネットに搭載する際には、以下を考慮してください。

- 室温は、必ず 35°C 以下にするようにしてください。
- サーバーは穴のあいたドアが付いたラック・キャビネットにのみ搭載してください。
- 通気口をふさがないようにしてください。通常 15 cm のスペースがあれば空気が正しく流れます。
- 装置は、ラック・キャビネットの下部から順に上の方に向かって搭載するよう計画してください。
- 最も重量のある装置はラック・キャビネットの下部に搭載してください。
- ラック・キャビネット搭載されたサーバーの上下にはスペースを残さないでください。スペースが残る場合は、サーバーのコンポーネントの破損を防止するため換気用のフィルター・パネルを取り付けてそのスペースを埋めてください。
- ラック・キャビネットから同時に複数の装置を引き出さないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ラックに複数の装置を格納する場合は、電源容量の過負荷に注意してください。
- 搭載が容易になるように、ラック・ドアおよびサイド・パネルは取り外してください。
- このキットに含まれるスライド・レールの長さは、IBM ラック・キャビネットへの取り付け用に正しく事前設定して出荷されますが、他社製のラック・キャビネット用にも調整可能です。
- スライド・レールには、ラック・キャビネットのフランジに正しく配置できるよう、マーク (RIGHT/FRONT (右側/前部) および LEFT/FRONT (左側/前部)) が付いています。



装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



≥18 kg



≥32 kg



≥55 kg



ラックに装着された装置の上には 50 kg を超えるものは置かないでください。

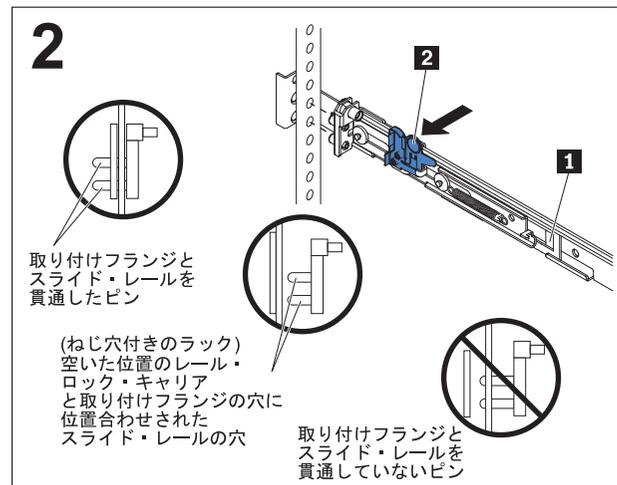
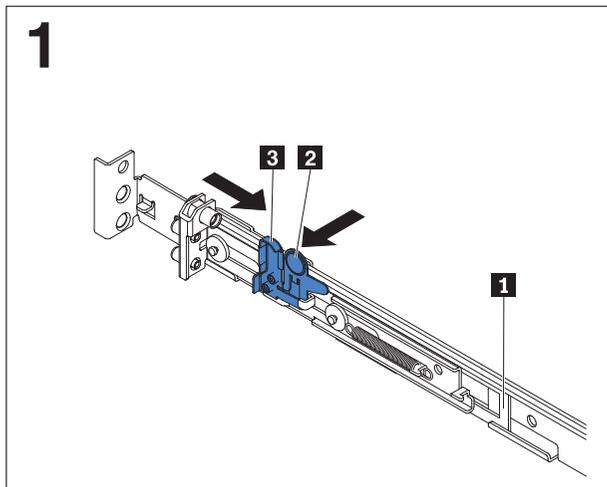
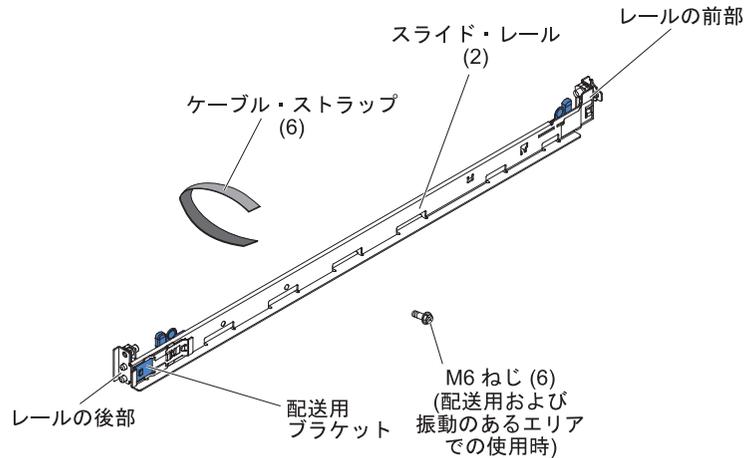


≥50 kg

### 注:

- サーバーをねじ穴付きのラックに搭載する場合は、ラックに合う適切なねじ (付属していません) を使用する必要があります。
- 本書の図は、お客様のハードウェアと多少異なる場合があります。

次の図は、ラック・キャビネットにサーバーを搭載する時に必要な部品を示しています。部品が不足または破損している場合は、購入先に連絡してください。



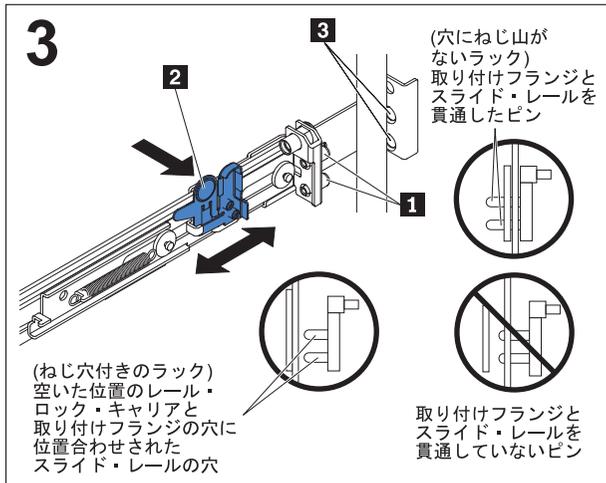
スライド・レール後部のレール調整ブラケット **1** を押して、ブラケットが動かないようにします。次に、タブ **2** とタブ **3** を押し、レール・ロック・キャリアが定位置に収まるまでスライド・レール前方にスライドします。前部レール・ロック・キャリアのタブ **2** とタブ **3** を押し、レール・ロック・キャリアが定位置に収まるまでスライド後方にスライドします。

スライド・レールの長さを調整する必要がある場合は、リリース・タブ **1** を持ち上げ、スライド・レール後方からレール調整ブラケットを定位置に収まるまで完全に引き出します。

穴にねじ山がないラックにスライド・レールを取り付ける場合は、レール・ロック・キャリア後部のピンを後部取り付けフランジの穴に位置合わせします。次に、タブ **2** を押して、スライド・レール後部を後部取り付けフランジに固定します。

**重要:** ピンは、必ず取り付けフランジとスライド・レールを完全に貫通するようにしてください。

スライド・レールをねじ穴のあるラックに取り付ける場合は、レール・ロック・キャリアが必ず開いている (ピンが取り付けフランジに接していない) ようにします。

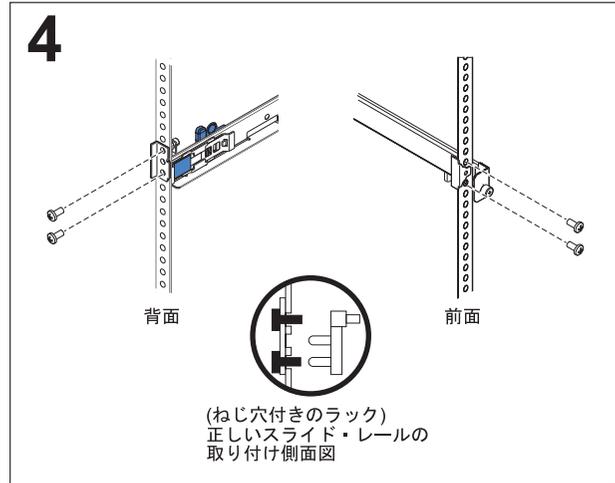


穴にねじ山がないラックにスライド・レールを取り付ける場合は、前部レール・キャリアのピン **1** を前部取り付けフランジに位置合わせします。レールの長さを調整する場合は、レール・ロック・キャリアをスライド・レール後方に押し戻してスライド・レールの位置を取り付けフランジ **3** に合わせます。次に、タブ **2** を押して、スライド・レール前部を取り付けフランジ前部に固定します。

**重要:** ピン **1** は、必ず取り付けフランジとスライド・レールを完全に貫通するようにしてください。

もう一方のスライド・レールについて、ステップ 1、2、および 3 を繰り返します。

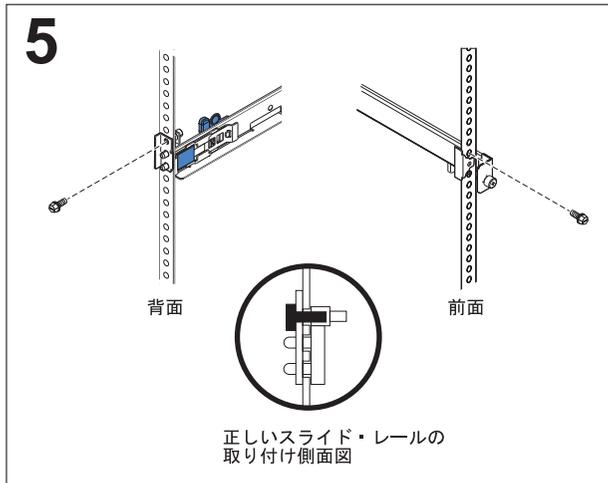
スライド・レールをねじ穴のあるラックに取り付ける場合は、レール・ロック・キャリアが必ず開いている (ピンが取り付けフランジに接していない) ようにします。



**注:** スライド・レールを穴にねじ山がないラックに取り付ける場合は、このステップを飛ばしてステップ 5 に進みます。

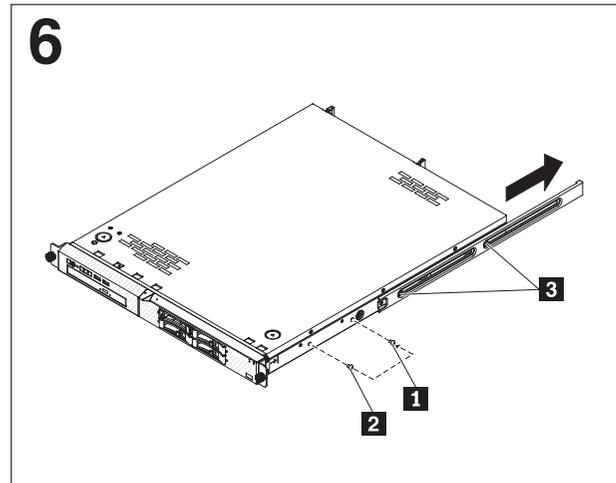
スライド・レールの一番上と下の穴のそれぞれにねじ (六角頭 M6 ねじではない) を取り付け、スライド・レール前部をラック・キャビネット前部に取り付けます。

このステップを繰り返してスライド・レール後部をラック・キャビネット後部に取り付けます。次に、もう一方のレールについても同様のステップを繰り返します。



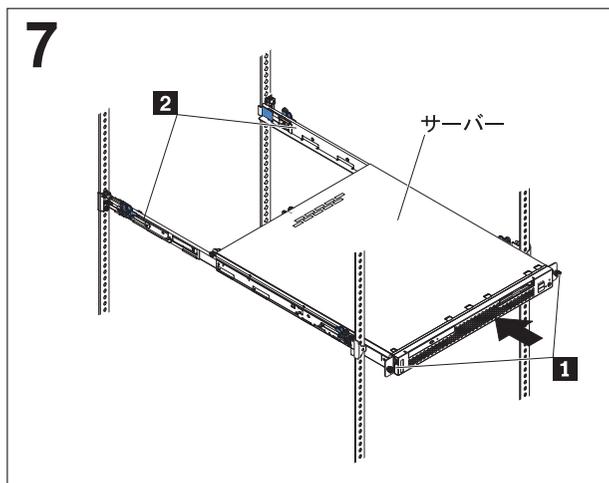
**注:** スライド・レールを穴にねじ山がないラックに取り付けない場合は、このステップを飛ばしてステップ 6 に進みます。

各スライド・レールの前後にM6 ねじを取り付けてスライド・レールをラックに固定します。



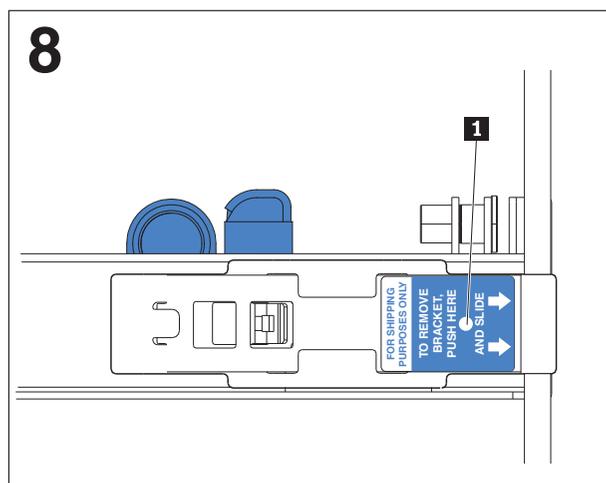
サーバーが搭載された状態で、ラック・キャビネットを別のロケーションに移送する予定の場合は、大型ねじ **1** を取り外して廃棄します。前部ねじ **2** は取り外してから保存し、他の 2 つのねじ **3** は緩めておきます。次に、レールを完全に伸ばし、保存しておいたねじを、大型ねじ **1** が取り付けられていた場所に挿入します。すべてのねじを締めてレールを固定します。もう一方のレールについてもこのステップを繰り返します。

サーバーが搭載された状態で、ラック・キャビネットを別のロケーションに移送する予定がない場合は、ステップ 7 を続行します。



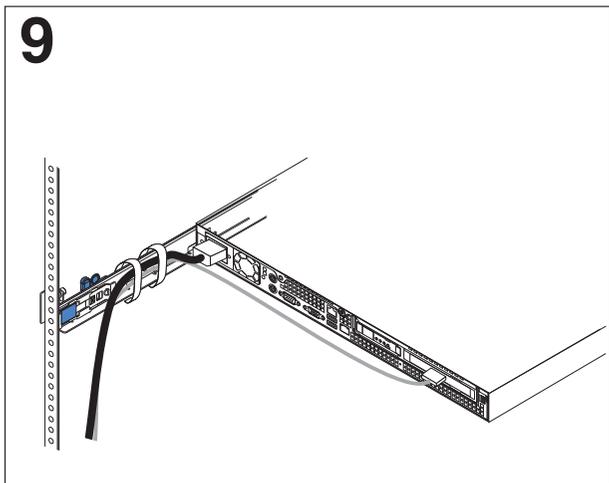
サーバーをスライド・レール上で位置合わせしてから、サーバーをラック・キャビネット内に完全に押し込みます。拘束つまみねじ **1** でサーバーを前部取り付けフランジに固定します。

**注:** 配送用ブラケット **2** は、サーバーをラック・キャビネット収納する際の妨げにならない限り、スライド・レールに取り付けたままにしておく必要があります。配送用ブラケットを取り外す必要がある場合は、次のステップを続行します。

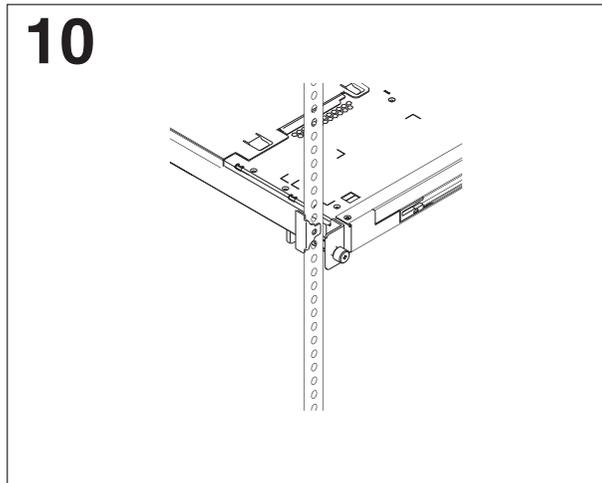


配送用ブラケットに指示されているように、リリース・タブ **1** を押して、スライド・レールから配送用ブラケットを取り外します。もう一方の配送用ブラケットについてもこのステップを繰り返します。配送用ブラケットは、将来の利用に備えて保管しておきます。

**注:** サーバーを搭載した状態でラック・キャビネットを別のロケーションに移送する場合は、事前に配送用ブラケットをスライド・レールに再度取り付ける必要があります。配送用ブラケットを再度取り付けるには、このステップを逆に実行してください。



ケーブル類をサーバー背面に取り付けます (必要に応じてキーボード、マウス、モニター・ケーブルなど)。ケーブル類をサーバーの左隅 (背面から見て) に配線し、ケーブル・ストラップを使用してスライド・レールにケーブル類を固定します。



サーバーが搭載された状態で、ラック・キャビネットを別のロケーションに移送する前に、サーバーをラックに固定する必要があります。必要に応じて、サーバー背面からケーブル類を抜いてから、サーバーをラックから150 mm 引き出し、サーバーをラック・キャビネットに固定します。

レールは必ずラック・キャビネット後方に完全に引き出され、配送用ブラケットが取り付けられているようにします。手順については、ステップ 6、7、および 8 に戻ってください。

ラックからサーバーを取り外す場合は、これらの手順を逆に実行します。この説明書は、将来の利用に備えてサーバーの資料と一緒に保管してください。

---

第2版第1刷 2010.9

Printed in Japan

IBM は IBM Corporation の米国およびその他の国における商標です。

© Copyright IBM Corporation 2010.

(1P) P/N: 81Y6138

